INZAI よなよなテーブル

現代版井戸端会議に約80人

井戸端会議を現代に―地域で様々な活動に関わる市民が気軽に語り合い互いを知る「INZAI よなよなTable」が6月15日に印西市の牧の原モア内にある牧の原テーブルで初開催され、会場を埋める約80人が参加。都市経営アドバイザー毛塚幹人さんの話を聞き、それぞれに取り組んでいる活動をアピールするなど熱気に満ちた集いとなった。

これは印西市を拠点に街づくりに取り組む弥治衛門合同会社の藤代健吾代表が企画。会場となった牧の原モアの運営会社より委託を受け、コンシェルジュ業務を行いながら北総地域の活性化に取り組む㈱みなもの岩﨑肇社長との縁で実現した。

はじめに元財務省官僚でつくば市副市長などを務め、現在は各地の市政アドバイザーとして活躍する毛塚さんが、座談会や塾を開催して若手農業経営者や起業家の縦横のつながりをつくり、街歩きツアーで街の魅力を再発見するなどの事例を紹介。参加者からの「何がゴールなのか」との質問に「誰もが自分らしく生きていける社会」と答えるなどの活発な質疑応答に続き、子どもの居場所づくりに取り組むグループや地域の御神輿を保存する会の代表などが活動内容と思いを語り、閉会後も参加者が熱心に情報交換をするなど交流が続いた。

毛塚さんは「第1回でこれだけの人数が参加して盛り上がる印西市はすばらしい」と話していた。

藤代代表

毛塚さん

第1回を祝し岩崎社長の発声で乾杯